学校番号	3016

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「新編　詳解地理Ｂ」(二宮書店),「新詳高等地図」(帝国書院)						
副教材等	「最新地理図表 GEO ゲオ」（第一学習社）,「2020 ﾃﾞｰﾀﾌﾞｯｸｵﾌﾞｻﾞﾜｰﾙﾄﾞ」(二宮書店),「新　地理の研究」(啓隆社)						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地理とは地球上の数多くの「事象」を推理し理論的に解明していく学問である。以下にその主眼となる事項を記す。

・必要最小限の知識力を身に付ける。授業中に絶対覚えるようと言われた箇所は必ず暗記しておくことである。

・理解力を身に付ける。例えば気候の問題であれば「雨が少ないところ」ではなく「そこはなぜ雨が少ないのか」を理解できるようになることである。

・読み取る力を身に付ける。例えば人口統計の問題であれば「出生率や都市人口率が低い国はどこか」ではなく「発展途上国と先進国では出生率や都市人口率にどのような傾向があるか」を読み取れるようになることである。

２　学習の到達目標

現代世界の地理的事象を系統地理的に，現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し，現代世界の地理的認識を養うとともに，地理的な見方や考え方を培い，国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見いだし，それを系統地理的に考察したり，歴史的背景を踏まえて地誌的に考察したりし，国際社会の変化を踏まえて公正に判断して，その過程や結果を適切に表現している。	地図や統計，画像など地域に関する諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。	現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	授業での観察 発表 ノート	定期考査（記述問題） ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 確認テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期1	様々な地図と地理的技能	・地理情報と地図 ・地図の活用と地域調査	 ○	○ ○	 ○	○	a:学習内容に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。 b:学習内容について,各時代の世界観や地図の有用性,生活圏の地域的特色や地図を活用した地域調査の方法などを多面的・多角的に考察し,その過程や結果を適切に表現している。 c:学習内容に関する諸資料を収集し,有用な情報を選択して,読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ｄ:学習内容について,各時代の世界観や地図の有用性,生活圏の地域的特色や地図を活用した地域調査の方法などを理解し,その知識を身に付けている。	定期考査 授業での観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 発表
前期2	現代世界の系統地理的考察	・自然環境 ・資源，産業 ・人口，都市・村落 ・生活文化，民族・宗教	○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○	a:学習内容に関する諸事情の分布や動向,人間生活との関わり,民族と国家の関係などに関する考察を基に,学習内容に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。 b:学習内容について， 分布や動向,人間生活との関わり,民族と国家の関係などを系統地理的に考察し、環境,資源・エネルギー,食料,人口,居住・都市,民族,領土などの問題を大観させ,その過程や結果を適切に表現している。	定期考査 確認ﾃｽﾄ 授業での観察 ノート

							c:学習内容に関する諸資料を収集し,有用な情報を選択して,読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:学習内容について, 分布や動向,人間生活との関わり,民族と国家の関係などとともに,環境,資源・エネルギー,食料,人口,居住・都市,民族,領土などの問題や,系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し,その知識を身に付けている。	
後期	現代世界の地誌的考察	・現代世界の地域区分 ・現代世界の諸地域 ・現代世界と日本	 ○	○ ○ ○	 ○ 	○ ○ ○	a :学習内容に対する関心と課題意識を高め, それを意欲的に追究し, 捉えようとしている。 b:現代世界を幾つかの地域に区分する方法や地域の概念,地域区分の意義,有用性を多面的・多角的に考察する。現代世界の諸地域にみられる地域的特色や地球的課題を地誌的に考察する。現代世界における日本の国土の特色や抱える地理的な諸課題を多角的・多面的に考察し,その解決の方向性や将来の国土の在り方などを公正に判断する。以上の過程や結果を適切に表現している。 c:学習内容に関する諸資料を収集し,有用な情報を選択して,読み取ったり図表などにまとめたりしている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ 授業での観察 発表

							ｄ：現代世界を幾つかの地域に区分する方法や地域の概念，地域区分の意義，有用性を理解し，その知識を身に付けている。現代世界の諸地域にみられる地域的特色や地球的課題を地誌的に考察する方法を理解し，その知識を身に付けている。現代世界における日本の国土の特色や抱える地理的な諸課題を理解し，その知識を身に付けている。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。